

支援プログラムについて

児童発達支援 和（にこ）
作成年月：令和7年12月23日

小さなころの療育で、未来が変わる。

子どもたちの育つ環境は時代とともに大きく変化しています。便利になる一方で、体を動かすこと、考えること、人と関わることが少しずつ減ってきているように感じます。だからこそ和（にこ）では、『今できるかどうか』ではなく、将来を自分らしく生きていくための土台づくりを大切にしています。

和（にこ）が大切にしていること

発達支援は、できる・できないを評価する場ではありません。安心できる環境の中で挑戦し、つまずき、また挑戦する。その過程そのものを支えることが、私たちの役割だと考えています。

5つの領域を大切にした支援

和（にこ）では、国が定める5つの発達領域をすべて含み、日々の支援の中で相互に関連づけながら支援を行っています。以下の支援は、個別支援計画に基づき柔軟に組み合わせて実施します。

健康・生活

ねらい 生活の土台を整え、心身の安定と安心感を育てます。

主な支援内容

- 食事・身支度・片付けなど基本的生活習慣の支援
- 見通しを持てる環境づくり
- 調理学習や外出支援を通した生活経験

運動・感覚

ねらい 体を動かす楽しさを感じ、感覚の調整力と身体認知を育てます。

主な支援内容

- 粗大運動・微細運動・体幹づくり
- 感覚遊び・音楽活動
- 五感を刺激する体験活動

認知・行動

ねらい 見通しを持って行動し、考えて選択する力を育てます。

主な支援内容

- 順番・ルール・切り替えの支援
- 成功体験を積み重ねる課題設定
- 実体験を通して学び

言語・コミュニケーション

ねらい 自分の気持ちや考えを安心して伝える力を育てます。

主な支援内容

- 多様な表現手段の活用
- やり取り遊び・模倣遊び
- 一人ひとりに合わせた関わり

人間関係・社会性

ねらい 人と関わる楽しさを知り、社会の中で安心して過ごす力を育てます。

主な支援内容

- 安定した対人関係づくり
- 集団活動での役割体験
- 外出支援を通じた社会的マナーの学び

個別支援計画との関係

和（にこ）では、本支援プログラムを基盤として、お子さま一人ひとりの発達状況や特性、ご家庭の状況を踏まえた個別支援計画を作成し、定期的に見直しながら支援を行っています。